

1. 学校管理課 Tel:049-224-6109 E-mail:gakokanri@city.kawagoe.saitama.jp

(1) 校種間連携教育

【平成 28 年度事業予定】

- ・川越市教育の一層の充実のため、小中学校等の校種間連携を進める。
- ・教育委員会と学校が車の両輪として教育を推進するため、計画的に学校訪問を行い、学校と教育委員会の意思疎通を図り、教育の充実に資する。

構成

小中連携

(下線は委嘱校)

グループ	学 校 名
1	川越第一中、初雁中、富士見中、 <u>山田中</u> 川越第一小、川越小、中央小、仙波小、月越小、今成小、 <u>山田小</u> ※富士見中と月越小、山田小と山田中 2 組委嘱
2	野田中、城南中、 <u>大東中</u> 、大東西中 <u>武蔵野小</u> 、新宿小、大塚小、泉小、 <u>大東東小</u> 、大東西小
3	芳野中、東中、 <u>南古谷中</u> 芳野小、古谷小、 <u>南古谷小</u> 、 <u>牛子小</u>
4	高階中、砂中、福原中 <u>高階小</u> 、高階北小、福原小
5	<u>高階西中</u> 、寺尾中 高階南小、 <u>高階西小</u> 、寺尾小
6	<u>霞ヶ関中</u> 、 <u>霞ヶ関西中</u> <u>霞ヶ関小</u> 、 <u>霞ヶ関南小</u> 、 <u>霞ヶ関西小</u>
7	<u>霞ヶ関東中</u> 、川越西中 <u>霞ヶ関北小</u> 、 <u>霞ヶ関東小</u> 、川越西小
8	名細中、 <u>鯨井中</u> 、 名細小、 <u>上戸小</u> 、広谷小

※ブロックをまたいで接続校と連携する場合もある。

中高連携

(下線は委嘱校)

学 校 名
<u>市立川越高</u> 、 <u>城南中</u> 、 <u>野田中</u> 、 <u>福原中</u>

中高特別支援教育連携

学 校 名
市立特別支援学校、富士見中、初雁中 他

※市立特別支援学校は、川越市の特別支援教育のセンターとして、他の小・中学校とも随時、必要に応じて連携する。

【平成 27 年度事業実績】

- ・異校種間での教職員の交流（合同研修等）や児童と中学生の交流が、質・量とも充実してきた。

(2) かわごえミドルリーダー研修

【平成 28 年度事業予定】

- ・ミドルリーダーとしての教育に対する識見を高め、学校課題の分析と解決プランの立案、組織マネジメント、人材育成、危機管理等に必要な資質の向上を図ることを通して、学校運営を推進する人材を育成する。
- ① 夏季休業中を中心に年間 9 回、3 年で計 27 回の研修を行う。1 年だけの受講も可。
- ② 各年度の研修参加人数は 30 人程度とする。
- ③ 「かわごえ異業種体験研修」に替わり昨年度より始まり、今年度 2 年目を迎える。

【平成 27 年度事業実績】

- ・年間 9 回実施し、35 人が参加した。

(3) オールマイティーチャーター配置事業

【平成 28 年度事業予定】

- ・学校における課題に応じて教員を配置し、生徒指導体制の充実や学力向上に向け、子どもたち一人ひとりに応じたきめ細かな教育活動を推進する。

【平成 27 年度事業実績】

- ・小学校 3 校に 3 人、中学校 10 校に 11 人、計 14 人を配置した。

(4) 地域人材活用事業

【平成 28 年度事業予定】

- ・川越市立小・中・特別支援学校が特色ある学校づくりを推進していくため、指導体制を整え、多様な教育活動や体験活動が展開できるように、地域の方々と連携し、児童生徒の自主的・主体的な取組の一層の充実を図る。

【平成 27 年度事業実績】

- ① 実施回数……391 回
- ② ご協力いただいた地域の方々……延べ 607 人
- ③ 事業の一例……読み聞かせ・農業体験指導・和楽器演奏・お囃子指導・中学校運動部活動指導
中学校吹奏楽指導・小学校クラブ活動指導、地域の学習・学校行事の支援 等

(5) 日本語指導ボランティア派遣事業

【平成 28 年度事業予定】

- ・小・中学校における日本語指導が必要な外国人児童生徒等を対象に、日本語指導ボランティアを派遣することにより、日本語の能力を向上させ、学習への理解度を深め、学校生活により順応させることを図る。

【平成 27 年度事業実績】

- ① 市内小中学校に在籍する児童生徒 42 人にボランティア 21 人を派遣した。
- ② 派遣回数は延べ 629 回であった。

2. 教育指導課 Tel:049-224-5483 E-mail:kyoikushido@city.kawagoe.saitama.jp

(1) 川越市小・中学校児童生徒健全育成事業「スクールボランチ作戦事業」

【平成 28 年度事業予定】

- ・学級がうまく機能しない状況や非行・問題行動、不登校児童生徒の増加など、生徒指導上の諸課題への対応と児童生徒一人ひとりに細やかな指導・支援を行うために、市内小・中学校に生徒指導推進員（スクールボランチ）を配置し、学校運営の補助を行い、児童生徒に対し適切な援助を行うものである。

スクールボランチは、校長の指揮監督の下に、概ね以下の活動を行う。

- ① 児童生徒への支援、教師の補助
- ② 学校運営上の支援
- ③ その他校長が必要と認める教育活動等の支援

【平成 27 年度事業実績】

- ・スクールボランチ配置状況

I 期 23 人 30 校配置 II 期 23 人 35 校配置 III 期 23 人 38 校配置

(2) 川越市中中学生社会体験事業

【平成 28 年度事業予定】

- ・地域の中で社会体験活動や多くの人々とのふれあいを通して、みずみずしい感性や社会性、自立心を中学生に養うとともに、勤労観や働く人としての基礎的・基本的な資質や能力を育成し、生徒一人ひとりが自分の生き方を見つけ、たくましく豊かに生きる力をはぐくむことをねらいとする。

- ① 実施対象……中学校第 1 学年または第 2 学年の生徒
- ② 実施場所……学区内の事業所を最優先とする。
- ③ 実施期間……各学校が設定した 2～3 日間

【平成 27 年度事業実績】

- ・2,850 人の生徒が延べ 865 事業所において、学校では経験できない体験を積んだ。

(3) トップアスリートふれあい事業

【平成 28 年度事業予定】

- ・近隣大学のスポーツ分野で活躍する教員・監督・コーチや学生を各市立小学校に招き、一緒に体を動かすことを通して、運動の楽しさを児童が実感するとともに、日常生活の中で主体的に運動・スポーツに親しむ態度や習慣を育成する。

- ① 体育の授業やクラブ活動における指導及びふれあい活動
- ② 全校の朝マラソンや持久走大会に向けての指導及びふれあい活動

【平成 27 年度事業実績】

- ・実 施 校 市内小学校 6 校（中央小、武蔵野小、南古谷小、高階北小、霞ヶ関北小、川越西小）
- ・参加児童数 2,727 人
- ・協 力 大 学 東洋大学

(4) 科学わくわくラーニングプログラム～ ①小学生科学体験事業

【平成 28 年度事業予定】

- ・各市立小学校 6 年生の児童を対象に、講演会、実験・実習、施設見学等の体験活動を実施し、科学への興味・関心を醸成する。(夏季休業中に実施)
- ① オリエンテーション、専門家等による講演会
- ② 小・中学校理科教員の指導による各種の実験・実習
- ③ 科学施設見学及び体験学習

【平成 27 年度事業実績】

- ・7 月 21 日・24 日・25 日の 3 日間にわたって開催
- ・国立研究開発法人海洋研究開発機構広報部広報課柴田桂先生による講演「判らないことだらけ 深い海の謎～調べる機械の仕組みと判ってきたこと～」
- ・実験、観察実習「マローブルー水溶液の色の変化を観察しよう」「植物と動物の細胞のつくりを調べよう」
- ・日本科学未来館見学

(5) 科学わくわくラーニングプログラム～ ②理科実験助手派遣事業

【平成 28 年度事業予定】

- ・理科実験助手を配置し、体験的な学習及び個別指導などを充実させ、児童の実験・実習の技能の向上、理科に対する興味・関心、知的好奇心や探究心を高める。(小学校 14 校)
- ① 理科の実験・実習の準備や補助
- ② 理科室・理科準備室の整備等

【平成 27 年度事業実績】

- ・12 人の理科実験助手を、小学校 12 校に配置
- ・12 校で合計 400 回（1 回につき 4 時間）派遣

(6) 科学わくわくラーニングプログラム～ ③小・中・大学連携理科ふれあい事業

【平成 28 年度事業予定】

- ・理科の授業等に大学理系学部の教員・大学院生・大学生を派遣し、最新の方法で実験や観察を行い、児童生徒の興味・関心、意欲を醸成する。(3 大学と連携 各市立小・中学校長からの申請に基づき、必要に応じて配置)
- ① 授業内容に応じた実験・観察、発展的な実験・観察
- ② 特別活動、総合的な学習の時間等における、児童生徒の興味・関心に応じた実験・観察

【平成 27 年度事業実績】

- ・東洋大学、城西大学、埼玉大学の 3 大学からの協力を得て、47 人の講師・協力者を招へい
- ・小学校 11 校、中学校 2 校の計 13 校で事業実施
- ・976 人の児童生徒が参加

(7) 川越市中中学生学力調査

【平成 28 年度事業予定】

- ・義務教育の学習内容の定着状況を把握し、教育の成果を検証する川越市独自の調査とするとともに、進路指導の充実に資する。また、各学校及び教育委員会が教育指導上の課題を把握し、指導方法の工夫改善を図る資料とする。
- ① 調査対象……………川越市立中学校全 22 校の第 3 学年生徒全員
- ② 調査対象教科……………国語・数学・社会・理科・英語
- ③ 調査実施予定日……第 1 回：9 月 5 日（月） 第 2 回：11 月 7 日（月）

【平成 27 年度事業実績】

- ・第 1 回調査を 9 月 3 日（木）、第 2 回調査を 11 月 5 日（木）に実施

(8) 学校図書館図書整理員配置

【平成 28 年度事業予定】

- ・学校図書館教育の充実に図るために、臨時事務職員（図書整理員）を配置する。図書整理員は、校長の指導の下に、概ね以下の活動を行う。
- ① 学校図書館図書の受け入れ・廃棄・配架・貸し出し・返却等の事務
- ② 学校図書館の美化・整理事務
- ③ 児童生徒の読書意欲の喚起や資料提供
- ④ 児童生徒や教職員への資料提供

【平成 27 年度事業実績】

- ・市立小・中・特別支援学校の全校に図書整理員を配置（合計 30 人）
- ・図書整理員の研修会を年 4 回開催

(9) ネットパトロール事業

【平成 28 年度事業予定】

- ・市内の全市立中・高等学校を対象に、生徒をネット上のいじめ等から守るために、学校非公式サイト等の検索及び書き込み等の監視をし、適切に対処する。

【平成 27 年度事業実績】

- ・市内の全市立中学校 22 校、市立高等学校を対象に、学校非公式サイト等の検索及び書き込み等の監視を通年で行った。
- ・22 件の報告

飲酒の記載	2 件	喫煙の記載	1 件	個人情報等の書き込み	1 件
写真・動画の掲載	5 件	危険行為	1 件	誹謗中傷	5 件
不良行為	2 件	学校への不満・悩み	2 件	家出の書き込み	1 件
盗撮	1 件	女子生徒監禁を企てる書き込み	1 件		
- すべての学校に報告、指導・対応済み

学校保健

① 平成 28 年度学校保健関係行事

○ 児童生徒定期健康診断	(4月～6月)
○ 児童生徒心臓検診	(4月～6月)
○ 教職員健康診断	(4月～8月)
○ 保健主事研修会・養護教諭研修会	(4月～3月)
○ 学校飲料水検査	(5月)
○ 普通救命講習会	(5月)
○ 薬物乱用防止教育研修会	(5月)
○ B型肝炎予防接種(養護教諭)	(5月～3月)
○ 学校環境衛生一斉検査	(前期6月～10月、後期1月～3月)
○ 学校プール水質検査	(6月)
○ 児童生徒脊柱側弯検査	(6月)
○ 川越市学校保健会総会及び講演会	(7月)
○ 小児生活習慣病予防検診	(7月～9月)
○ 教室等の空気検査	(8月)
○ 学校環境衛生検査器具取扱い講習会	(8月)
○ 応急手当普及員講習会	(8月)
○ 学校保健広報「わかあゆ」発行	(9月・2月)
○ 学校歯科保健優良校地区審査会	(9月)
○ 砂場の細菌検査	(10月)
○ 就学時健康診断	(10月～11月)
○ 歯科保健指導	(10月～12月)
○ 歯科保健指導者研修会	(11月)
○ 埼玉県学校健康教育推進大会	(1月)
○ 学校保健会理事会	(3月)



薬物乱用防止教室



歯科保健指導

② 平成 27 年度日本スポーツ振興センター災害共済給付状況 (医療費)

(単位：円)

月別	小 学 校		中 学 校		特別支援学校・市立高校		件数計	金 額 計
	件 数	給 付 額	件 数	給 付 額	件 数	給 付 額		
4	185	989,607	162	1,401,179	14	130,118	361	2,520,904
5	199	1,493,892	137	1,179,667	12	74,474	348	2,748,033
6	88	854,946	147	1,016,443	10	66,484	245	1,937,873
7	138	727,366	136	779,963	9	55,342	283	1,562,671
8	96	458,313	123	804,778	24	232,683	243	1,495,774
9	157	814,744	183	1,158,900	15	283,720	355	2,257,364
10	48	330,486	86	620,596	3	16,428	137	967,510
11	123	982,105	170	1,200,417	33	458,612	326	2,641,134
12	69	290,565	152	852,016	21	192,261	242	1,334,842
1	130	776,506	169	1,579,570	33	925,218	332	3,281,294
2	153	1,422,724	159	933,669	25	379,685	337	2,736,078
3	133	814,355	91	704,073	23	392,664	247	1,911,092
計	1,519	9,955,609	1,715	12,231,271	222	3,207,689	3,456	25,394,569

※平成 23 年度給付総計 (延べ人数) 4,263 人 (給付額) 25,101,195 円

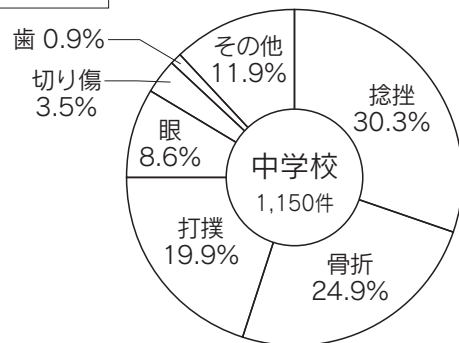
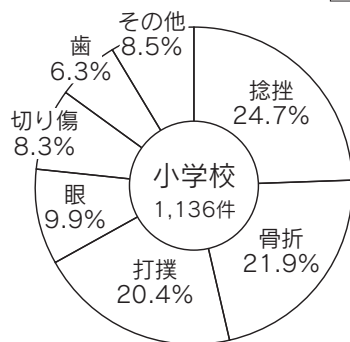
平成 24 年度給付総計 (延べ人数) 4,584 人 (給付額) 28,432,523 円

平成 25 年度給付総計 (延べ人数) 4,097 人 (給付額) 24,460,711 円

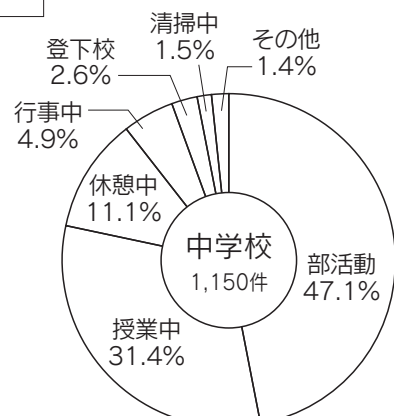
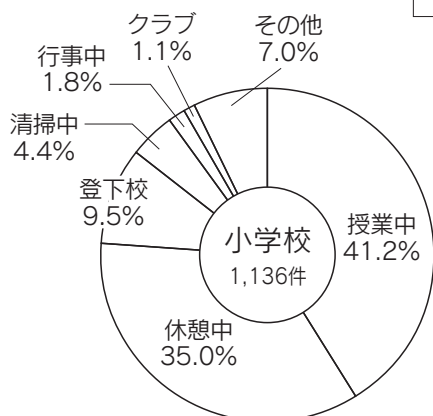
平成 26 年度給付総計 (延べ人数) 3,892 人 (給付額) 28,789,434 円

③ 平成 27 年度 事故発生件数 (日本スポーツ振興センターにかかわる事故による)

どんな負傷が多いか



どんな場合が多いか



④ 児童生徒の体位

(平成 27 年度)

市 県 国 別	性 別	学 校 年 別	身長 (cm)				体 重 (kg)				座 高 (cm)			
			市 平 均 値	市 標 準 偏 差	県 平 均 値	全 国 平 均 値	市 平 均 値	市 標 準 偏 差	県 平 均 値	全 国 平 均 値	市 平 均 値	市 標 準 偏 差	県 平 均 値	全 国 平 均 値
男	小 学 校	1	116.3	5.0	116.4	116.5	21.3	3.4	21.4	21.3	64.7	2.9	64.6	64.8
		2	122.1	5.1	122.8	122.5	23.9	4.2	24.1	23.9	67.5	2.9	67.8	67.6
		3	128.0	5.5	128.1	128.1	27.2	5.3	27.0	26.9	70.2	3.1	70.1	70.2
		4	133.1	5.6	133.6	133.5	30.0	5.9	30.3	30.4	72.5	3.2	72.7	72.6
		5	138.5	6.2	139.5	138.9	33.6	7.1	33.9	34.0	75.0	3.5	75.1	74.9
		6	144.8	7.0	144.8	145.2	38.0	8.4	37.4	38.2	77.7	3.8	77.5	77.7
	中 学 校	1	151.8	8.0	152.6	152.6	42.9	9.3	43.6	43.9	80.9	4.5	81.2	81.4
		2	158.9	7.6	159.4	159.8	47.8	9.3	48.3	48.8	84.6	4.4	84.7	85.1
		3	164.9	6.6	165.3	165.1	53.2	9.3	53.9	53.9	88.1	4.1	88.2	88.2
	高 校	1	169.7	—	168.5	168.3	58.4	—	58.9	59.0	91.2	—	90.3	90.4
		2	170.3	—	169.9	169.8	59.9	—	60.1	60.6	91.6	—	91.1	91.4
		3	171.3	—	170.8	170.7	62.9	—	63.0	62.5	92.1	—	92.1	92.1
	特 別 支 援	1	166.1	—	—	—	57.9	—	—	—	89.6	—	—	—
		2	166.3	—	—	—	65.4	—	—	—	90.3	—	—	—
		3	169.4	—	—	—	58.4	—	—	—	91.5	—	—	—
女	小 学 校	1	115.7	5.1	115.7	115.5	21.1	3.4	20.8	20.8	64.4	2.9	64.3	64.4
		2	121.3	5.1	121.8	121.5	23.6	3.9	23.8	23.4	67.2	2.9	67.2	67.2
		3	127.1	5.6	128.0	127.3	26.3	4.6	26.8	26.4	69.8	3.1	70.2	69.9
		4	133.3	6.3	133.5	133.4	29.7	5.7	29.8	29.7	72.7	3.5	72.6	72.7
		5	139.7	6.8	139.6	140.1	33.6	6.5	34.0	33.9	75.8	3.9	75.5	75.8
		6	146.6	6.9	146.3	146.7	39.1	8.1	38.7	38.8	79.4	4.1	78.9	79.2
	中 学 校	1	151.7	5.7	151.5	151.8	43.5	7.6	43.6	43.6	82.1	3.5	81.8	82.1
		2	154.8	5.6	154.9	154.9	47.4	7.8	47.2	47.3	83.9	3.3	83.7	83.9
		3	156.5	5.2	156.6	156.5	50.1	7.2	50.1	49.9	85.2	3.0	84.8	84.9
	高 校	1	158.3	—	157.7	157.1	52.4	—	52.6	51.5	85.4	—	85.5	85.5
		2	158.1	—	157.6	157.6	51.6	—	53.3	52.6	85.9	—	85.8	85.7
		3	158.0	—	158.3	157.9	52.0	—	53.6	53.0	86.0	—	86.0	85.9
	特 別 支 援	1	153.3	—	—	—	53.8	—	—	—	84.3	—	—	—
		2	156.5	—	—	—	55.8	—	—	—	86.4	—	—	—
		3	156.5	—	—	—	50.8	—	—	—	86.3	—	—	—

※県・全国の平均値は、平成 27 年度学校保健統計調査報告書（埼玉県総務部統計課発行）による。

※調査対象：県・全国は一部抽出。市は全児童生徒。

⑤ 児童生徒の「新体力テスト」 平均値

(平成 27 年度)

項目名	学 校		小 学 校						中 学 校		
	学 年		1	2	3	4	5	6	1	2	3
50m走 (秒)	男子	県	11.48	10.66	10.11	9.68	9.29	8.86	8.52	7.89	7.48
		川越市	11.64	10.75	10.19	9.76	9.32	8.88	8.55	7.80	7.39
	女子	県	11.80	10.95	10.39	9.92	9.50	9.11	8.97	8.65	8.56
		川越市	11.93	11.11	10.51	10.00	9.54	9.14	9.00	8.63	8.49
立幅跳び (cm)	男子	県	116.47	127.54	138.15	147.28	156.20	167.10	180.75	199.28	214.31
		川越市	114.35	126.20	136.41	145.87	154.92	166.57	177.29	197.12	210.66
	女子	県	109.32	120.33	131.57	141.83	150.88	160.09	166.63	174.35	177.61
		川越市	106.67	117.85	132.14	140.89	149.00	159.18	162.33	171.32	176.41
ボール投げ (m)	男子	県	8.22	11.27	14.88	18.23	21.69	25.15	18.01	21.41	24.33
		川越市	8.29	11.18	14.77	18.48	21.59	24.88	18.33	22.02	24.78
	女子	県	5.78	7.60	9.58	11.72	13.78	15.87	11.90	13.70	14.78
		川越市	5.91	7.44	9.51	11.50	13.40	15.31	11.86	13.64	14.98
握力 (kg)	男子	県	9.28	10.89	12.62	14.51	16.54	19.40	23.75	29.59	34.86
		川越市	9.25	10.71	12.56	14.42	16.54	19.56	22.81	28.98	34.12
	女子	県	8.77	10.34	12.05	13.94	16.31	19.27	22.01	24.63	26.22
		川越市	8.80	10.18	11.93	13.99	16.21	19.67	21.30	24.22	25.70
上体起こし (cm)	男子	県	12.11	15.23	17.36	19.31	21.49	23.39	26.00	30.24	32.97
		川越市	11.89	15.41	17.97	19.56	21.25	23.21	26.42	31.03	32.74
	女子	県	11.52	14.73	16.78	18.65	20.56	21.95	23.24	26.71	28.05
		川越市	11.03	15.12	17.42	19.07	20.18	21.52	23.12	26.59	27.83
長座体前屈 (cm)	男子	県	26.58	28.54	30.37	32.29	34.47	36.89	41.55	46.70	50.90
		川越市	25.85	29.10	30.60	31.60	34.23	36.32	42.04	46.81	49.60
	女子	県	29.14	31.61	33.94	36.30	39.28	42.30	45.60	49.15	51.42
		川越市	28.48	32.07	34.01	36.02	38.72	41.26	44.96	49.90	51.47
反復横とび (回)	男子	県	28.21	32.26	36.18	40.49	44.39	47.53	49.01	52.73	55.52
		川越市	27.37	31.08	35.17	40.71	43.92	47.07	47.86	52.72	54.98
	女子	県	26.99	30.66	34.60	38.74	42.35	44.92	45.40	47.35	48.14
		川越市	25.93	29.83	33.49	38.91	41.63	44.56	43.96	46.44	47.48
20m シャトルラン (指数)	男子	県	21.32	30.99	40.48	49.35	57.26	65.50	—	—	—
		川越市	20.16	30.19	40.65	49.67	56.48	63.53	—	—	—
	女子	県	18.33	25.11	31.96	39.54	47.26	53.57	—	—	—
		川越市	17.66	23.78	32.43	39.35	45.63	50.35	—	—	—
持久走 (分秒)	男子	県	—	—	—	—	—	—	6' 48"77	6' 15"50	6' 01"92
		川越市	—	—	—	—	—	—	6' 56"14	6' 13"20	5' 59"19
	女子	県	—	—	—	—	—	—	4' 47"87	4' 35"83	4' 37"40
		川越市	—	—	—	—	—	—	4' 54"35	4' 37"13	4' 39"14

※小学校は、20m シャトルラン。中学校は、持久走。

※持久走の距離は、男子が 1,500m、女子が 1,000m。

3. 学校給食課 Tel:049-223-6035 E-mail:gakokyusyoku@city.kawagoe.saitama.jp

《菅間学校給食センター》

- 住 所……川越市菅間 18-9
- 設 立……平成 17 年 8 月
- 給食規模……12,000 食
- 対象学校……小学校 20 校
- 敷地面積……9,908.41㎡
- 建物面積……5,699.60㎡



《今成学校給食センター》

- 住 所……川越市今成 2-35-5
- 設 立……昭和 44 年（平成 5 年改築）
- 給食規模……12,000 食
- 対象学校……中学校 22 校・特別支援学校 1 校
- 敷地面積……5,492.74㎡
- 建物面積……3,272.11㎡



《藤間学校給食センター》

- 住 所……川越市藤間 948-1
- 設 立……昭和 56 年
- 給食規模……8,000 食
- 対象学校……小学校 6 校
- 敷地面積……4,725.91㎡
- 建物面積……1,890.82㎡



《吉田学校給食センター》

- 住 所……川越市吉田 444
- 設 立……昭和 59 年
- 給食規模……5,600 食
- 対象学校……小学校 6 校
- 敷地面積……3,754.00㎡
- 建物面積……1,690.12㎡



平成 28 年度学校給食センター別給食数及び担当校一覧

（平成 28. 5. 1 現在）

センター名	給食数	小・中別	対 象 校
菅間学校給食センター	11,757 食	小学校 20 校	川越第一・川越・中央・仙波・武蔵野・大塚・泉・月越・今成・芳野・古谷・南古谷・牛子・寺尾・大東東・大東西・霞ヶ関東・上戸・広谷・山田
藤間学校給食センター	3,849 食	小学校 6 校	新宿・高階・高階南・高階北・高階西・福原
吉田学校給食センター	3,297 食	小学校 6 校	霞ヶ関・霞ヶ関南・霞ヶ関北・霞ヶ関西・川越西・名細
今成学校給食センター	9,362 食	中学校 22 校 特別支援学校 1 校	川越第一・初雁・富士見・野田・城南・芳野・東・南古谷・高階・高階西・砂・寺尾・福原・大東・大東西・霞ヶ関・霞ヶ関東・霞ヶ関西・川越西・名細・鯨井・山田・特別支援学校
合 計	28,265 食	55 校	

（１）学校給食・食育の充実

① 食育の推進

【平成 28 年度事業予定】

- ・ 創意工夫を生かした楽しい食事の場を提供し、児童生徒が生涯健康で充実した生活を送るための基礎知識を身に付けるため、食に関する指導の充実を図る。
- ・ 学校給食を通して望ましい食習慣、食べる物に対するありがたさ、食事ができることへの感謝の気持ちを培い、好ましい人間関係の育成に努める。

【平成 27 年度事業実績】

- ・ 栄養士が市内小学校を訪問し、2 年生約 3,000 人を対象に食に関する指導を年 2 回実施した。

② 給食指導、給食への理解

【平成 28 年度事業予定】

- ・ 学校給食を通して家庭・地域との連携を図り、食に関する指導の推進に努める。
- ・ 児童生徒の食生活の基本である家庭との連携を図るため、給食内容や食生活の指導等を中心とした「給食だより」や広報誌「いきいき」などを発行する。
- ・ 親子で参加する夏休み料理教室、農産物の生産現場や食品加工などの現場を見学する食の探検隊等を開催する。

【平成 27 年度事業実績】

- ・ 「給食だより」を年 5 回発行、広報誌「いきいき」を年 1 回発行した。
- ・ 夏休み料理教室を 7 月、学校給食センター見学会を 8 月に開催した。



夏休み料理教室



学校給食センター見学会

③ 試食会

【平成 28 年度事業予定】

- ・ 児童生徒の保護者に学校給食への理解を深めてもらうこと、学校給食の普及・充実を図るために実施する。

【平成 27 年度事業実績】

- ・ 55 回の開催で約 2,000 人が参加した。

④ 地場産物

【平成 28 年度事業予定】

- ・お米をはじめとして、ほうれん草、小松菜、チンゲン菜、巨峰、枝豆、とうもろこしなどの川越産農産物や旬の食材を献立に取り入れ、季節感のある魅力的な献立の充実に努める。

【平成 27 年度事業実績】

- ・川越産米の使用実施は約 240 t であり、使用割合は 100% となっている。
- ・地場農産物や旬の食材を導入するなど、特色ある献立の充実に努めた。（平成 27 年度は米、ほうれん草、小松菜、チンゲン菜、巨峰、枝豆、とうもろこしなど 19 品目の川越産農産物を使用した。）

⑤ 学校給食施設の整備

【平成 28 年度事業予定】

- ・老朽化が進む施設を計画的に更新するため、（仮称）川越市新学校給食センター整備運営事業を推進する。
- ・菅間学校給食センター及び今成学校給食センターの施設設備の改修を計画的に実施する。

【平成 27 年度事業実績】

- ・（仮称）川越市新学校給食センター整備運営事業について、事業用地を取得し、事業者選定を行い、平成 28 年 1 月に事業者と事業契約を締結した。

⑥ 食材の安全確保、学校給食食材の放射性物質検査

【平成 28 年度事業予定】

- ・安心・安全でおいしい学校給食のために、食材料の安全確保に努める。
- ・学校給食の安全性について更に市民の皆様にご安心していただくため、食材の放射能検査機器を用いて、毎日 3 品目程度の食材と 1 食分の完成品について、放射性物質の自主検査を実施する。

【平成 27 年度事業実績】

- ・562 品目の食材と 188 食分の完成品について放射性物質の自主検査を実施した結果、すべて不検出となっている。

学校給食費

- ・給食費は、金融機関による口座引き落とし（一部納付書払い）により、児童、生徒の保護者から徴収している。

① 学校給食費

区 分	月 額	年 額	徴収月数	給食日数	1 食当たり単価	備 考
小学校	4,350 円	47,850 円	11 か月	187 日	255 円 88 銭	平成 27 年 4 月改定
中学校	5,250 円	57,750 円	11 か月	187 日	308 円 82 銭	平成 27 年 4 月改定

② 1 食当たり単価（保護者負担額）

区 分	主 食	牛 乳	副 食	計	備 考
小学校	47 円 43 銭	200cc 51 円 71 銭	156 円 74 銭	255 円 88 銭	平成 27 年 4 月改定
中学校	59 円 23 銭	200cc 51 円 71 銭	197 円 88 銭	308 円 82 銭	平成 27 年 4 月改定

学校給食摂取基準

- ・学校給食の食事内容については、文部科学省の「学校給食摂取基準」に基づく栄養的にバランスのとれた献立内容の充実に努めている。

現行の基準は平成 25 年 4 月に改定され、次のように定められている。

区 分	小学校児童の場合			中学校生徒の場合
	低学年 (6～7 歳)	中学年 (8～9 歳)	高学年 (10～11 歳)	
エネルギー (kcal)	530	640	750	820
たんぱく質 (g)	16～26	18～32	22～38	25～40
脂 質 (%)	学校給食による摂取エネルギー全体の 25～30%			
ナトリウム (食塩相当量) (g)	2 未満	2.5 未満	2.5 未満	3 未満
カルシウム (mg)	300	350	400	450
鉄 (mg)	2	3	4	4
ビタミン A ($\mu\text{g RE}$)	150	170	200	300
ビタミン B ₁ (mg)	0.3	0.4	0.5	0.5
ビタミン B ₂ (mg)	0.4	0.4	0.5	0.6
ビタミン C (mg)	20	20	25	35
食 物 繊 維 (g)	4	5	6	6.5

※表に掲げるもののほか、次に掲げるものについてもそれぞれ示した摂取について配慮すること。

マグネシウム…児童 (6～7 歳) 70mg・(8～9 歳) 80mg・(10～11 歳) 110mg、生徒 (12～14 歳) 140mg

亜鉛……………児童 (6～7 歳) 2mg・(8～9 歳) 2mg・(10～11 歳) 3mg、生徒 (12～14 歳) 3mg

給食指導資料

学校給食課企画・製作による次の資料が備えられている。

- 学校給食センターの 1 日
- こんなにおおくなりました！！ のこさずたべてくださいね (川越産枝豆)
- おこめにつき (川越産米)
- ぼくがだれだかわかるかな？ かわごえの畑ですくすく育っているよ (川越産とうもろこし)
- しょうゆができるまで (川越産大豆使用のしょうゆ)
- みつばの成長日記 (川越産みつば)
- 川越の名産 私は何でしょう 秋にほくほく！ (川越産さつま芋)
- ボーンくん (カルちゃん)

カルシウムに親しみを持ってもらう
ために生まれたキャラクター
ボーンくん



4. 教育センター Tel:049-235-7591 E-mail:kyoikucenter@city.kawagoe.saitama.jp



- (1) 名 称 川越市立教育センター
- (2) 所在地 川越市古谷上 6083-10 (電話 049-235-7591・ファクス 049-230-1023)
- (3) 沿 革
 - 昭和 56 年 8 月 1 日 川越市立教育研究所準備室を設置する。
 - 昭和 61 年 4 月 1 日 川越市立教育研究所を開設する。
 - 平成 12 年 4 月 1 日 川越市教育総合相談センター（リバーラ）を開設する。
 - 平成 15 年 4 月 1 日 中核市移行に伴い、学校教育部教育研究所に組織改編される。管理係、研修係、教育相談係を置く。
 - 平成 19 年 4 月 1 日 組織改編に伴い係を廃止し、管理担当、研修担当、教育相談担当を置く。
 - 平成 21 年 4 月 1 日 旧川越市立古谷東小学校を教育研究所（旧古谷東小）施設とする。
 - 平成 22 年 4 月 1 日 川越市立教育研究所を廃止し、川越市立教育センターを設置する。併せて、川越市立教育センター分室（リバーラ）を設置する。
 - 平成 27 年 4 月 1 日 いじめ相談直通電話を教育センター分室（リバーラ）から移設する。
- (4) 本年度の調査・研究
 - ① 児童生徒の学力に関する調査・研究
 - ・学力検査等の結果分析に基づく指導方法の工夫・改善に関する研究
 - ② 川越市の児童生徒の学習・生活状況調査に関する研究
 - ・取組の充実を図る指導方法の研究
 - ③ 男女平等教育に関する調査・研究
 - ・男女共同参画社会の構築に向けた指導方法の研究
 - ④ 情報教育に関する調査・研究
 - ・ICTを活用した学習指導に関する研究及び情報教育に関する資料の収集整理
 - ⑤ 小学校外国語活動に関する調査・研究
 - ・小学校外国語活動の指導計画・指導方法の研究
 - ⑥ 特別支援教育推進に関する調査・研究
 - ⑦ 不登校問題に関する調査・研究

(1) 教職員の資質向上

【平成 28 年度事業予定】

- ・経験・職能別研修、管理職等研修、奨励研修の充実を図る。

【平成 27 年度事業実績】

平成 27 年度研修会実施一覧

分 類			研 修 会 名	実施月	対 象	主催	日数	延べ参加人数	
I 基本研修	1 基礎研修	初任者研修	川越市立小学校初任者研修	通年	教諭等	市	23	897	
			川越市立中学校初任者研修	通年	教諭等	市	23	458	
			川越市立高等学校初任者研修	通年	教諭等	県	－	－	
			川越市立特別支援学校初任者研修	通年	教諭等	県	－	－	
			川越市立学校初任者栄養教諭研修	通年	栄養教諭	県	－	－	
		新規採用等 教職員研修	新規採用養護教員研修	通年	養護教諭	県	－	－	
			新規採用学校栄養職員研修	通年	学校栄養職員	県	－	－	
			新任学校事務職員研修会	4～7月	学校事務職員	県	－	－	
			新任転入等養護教諭研修会	4月	養護教諭	市	1	8	
			新任転入等学校事務職員研修会	6, 7, 9月	学校事務職員	市	3	26	
			公立小中学校等臨時的任用教員研修会	7月	臨時的任用教員	市	2	321	
		教職員経験者研修	川越市立小学校 5 年経験者研修	5～2月	教諭等	市	10	358	
			川越市立中学校 5 年経験者研修	5～2月	教諭等	市	10	228	
			川越市立高等学校 5 年経験者研修	6～12月	教諭等	県	－	－	
			川越市立特別支援学校 5 年経験者研修	6～12月	教諭等	県	－	－	
			養護教員 5 年経験者研修	4～10月	養護教諭	県	－	－	
			学校栄養職員等 5 年経験者研修	4～10月	学校栄養職員等	県	－	－	
			川越市立小学校10年経験者研修	5～2月	教諭等	市	12	413	
			川越市立中学校10年経験者研修	5～2月	教諭等	市	12	130	
			川越市立高等学校10年経験者研修	通年	教諭等	県	－	－	
			川越市立特別支援学校10年経験者研修	通年	教諭等	県	－	－	
			養護教員10年経験者研修	通年	養護教諭	県	－	－	
			学校栄養職員等10年経験者研修	通年	学校栄養職員等	県	－	－	
			川越市立学校20年経験者研修	5～2月	教諭等	市	2	10	
			特別支援教育 新担当教員研修	特別支援学級新担当教員研修会	5, 8, 10月	教諭等	県	－	－
				通級指導教室新担当教員研修会	4～8月	教諭等	県	－	－
	2 管理職等研修	管理職候補者研修	校長候補者研修会（1、2 年次以降）	7月, 随時	教頭等	県	－	－	
			教頭候補者研修会（1、2、3 年次以降）	6～11月	教諭等	県	－	－	
		新任等管理職研修	新任校長・教頭事前研修会	3月	教頭・主幹教諭・教諭等	県	－	－	
			新任校長・教頭研修会	5～12月	校長・教頭	県	－	－	
		管理職研修	校長研修会	随時	校長	市・県	1	56	
			教頭研修会	随時	教頭	市・県	1	57	
			一人一人を大切にし、信頼関係に立つ教育推進教頭研修会	8月	教頭	市	1	56	
			生きる力をはぐむ校種間連携教育研修会	7, 8, 2月	校長・教頭	市	3	128	
	3 職能別研修	非常勤職員等研修	特別支援教育支援員研修会（自立支援サポーター）	7月	支援員等	市	2	64	
			特別支援教育支援員研修会（臨時指導員・看護師）	4月, 7月	臨時指導員等	市	2	158	
			特色あるさわやか相談室づくり研修会	4, 7, 12月	相談員	市	3	64	
			スクールソーシャルワーカー研修会	4, 7, 8, 10, 2月	スクールソーシャルワーカー	市	5	5	
			魅力ある学校図書館をつくる図書整理員研修会	4, 7, 9, 1月	図書整理員	市	4	120	
			英語指導助手研修会	通年	英語指導助手	市	12	30	
			授業力アップ研修会	5月	非常勤職員等	市	1	90	
		主幹教諭研修	主幹教諭研修会	5, 7, 1月	主幹教諭	市	3	40	
		教務主任研修	教務主任研修会	5, 7, 10, 1月	教務主任	市	4	91	
		学校事務職員研修	学校事務職員研修会	8月	学校事務職員	市	1	114	
		栄養教諭・学校栄養職員研修	栄養教諭・学校栄養職員研修会	7月	栄養教諭・学校栄養職員	市	1	17	
		初任者研修拠点校指導教員等研修	拠点校指導教員等研修会	4, 7, 10, 11, 2月	拠点校指導 教員等	市	6	51	
		学校保健	養護教諭研修会	4, 8, 10, 3月	養護教諭	市	5	195	
			保健主事研修会	4, 8月	保健主事	市	2	104	

Ⅱ 学 校 教 育 教育センター

分 類			研修会名	実施月	対象	主催	日数	延べ参加人数
Ⅰ 基本研修	3 職 能 別 研 修	道徳教育	道徳教育推進教師研修会	5, 2月	道徳教育推進教師等	市	2	105
		特別支援教育	特別支援教育コーディネーター養成研修会	5, 8, 2月	特別支援教育コーディネーター等	市	3	158
			就学相談担当者研修会	5月	就学相談担当者等	市	1	53
			特別支援学級担任研修会	7月	特別支援学級担任	市	1	54
			通級指導教室担当者研修会	4, 7, 3月	通級指導教室担当者	市	3	25
			難聴・言語障害研修会	8月	難聴言語障害通級指導教室担当者	市	1	43
		教育相談	学校教育相談コンサルテーション研修会	5, 10月	教育相談担当者等	市	2	98
		学校図書館教育	子ども読書活動推進研修会	8月	司書教諭等	市	1	54
		情報教育	管理職のためのＩＣＴ活用研修会	6月	校長・教頭	市	1	52
			情報化推進リーダー研修会	7, 10月	情報化推進リーダー等	市	2	104
		進路指導・キャリア教育	進路指導・キャリア教育研修会	8月	進路・キャリア担当者等	市	1	54
Ⅱ 専門研修	1 重 点 研 修	教科全般	学力向上研修会	5月	教諭等	市	1	57
		理科	理科指導力向上研修会	8月	教諭等	市	1	34
		保健体育科	保健体育科指導力向上研修会	8月	保健体育科教諭等	市	1	41
			中・高等学校体育実技指導講習会	5, 6月	保健体育科教諭等	県	－	－
		体育・保健体育科	体力向上全体研修会	2月	体育・保健体育主任等	市	1	79
		生徒指導	生徒指導主任研修会	7月	生徒指導主任等	市	1	56
		人権教育	人権教育主任研修会	5月	人権教育主任等	市	1	56
			人権教育授業研究会	10月	教科主任等	市	2	98
			男女平等教育研修会	7月	教務主任等	市	1	28
		環境教育	環境教育研修会	7月	環境教育主任等	市	1	29
		国際理解教育	国際理解教育研修会	7, 10～2月	国際理解教育主任等	市	2	56
		小学校外国語活動	小学校外国語活動指導力向上研修会	8月	小学校教諭等	市	2	72
		英語科	英語科指導力向上研修会	7月	中学校教諭等	市	2	43
		幼年期教育	子どものよりよい成長を考える研修会	8月	教諭等	市	1	92
		食育	食に関する指導法研修会	7月	教諭等	市	1	55
		学級経営	指導力スキルアップ研修会	5～1月	採用2年目教諭等	市	2	113
		学習指導	市立高等学校教員進学指導力向上研修	8月	市立高等学校教諭	市	1	2
		家庭・地域連携	保護者とともに考える研修会	10月	教諭等保護者	市	1	51
		情報教育	学校ホームページ更新研修会	5月	情報教育主任等	市	2	29
		生徒指導	薬物乱用防止教育研修会	5月	生徒指導主任保健主事等	市	1	51
		特別支援教育	特別支援教育指導法研修会	7月	採用3年目教諭等	市	1	57
		情報教育	ＩＣＴスキルアップ研修会	7, 8月	採用4年目教諭等	市	1	48
	2 教 科 等 研 修	国語科	国語科授業づくり研修会(国語力向上コース)	7月	教諭等	市	1	19
			国語科授業づくり研修会(読書指導コース)	7月	教諭等	市	1	33
		社会科	社会科授業づくり研修会(副読本活用コース)	5月	教諭等	市	1	6
			社会科授業づくり研修会(授業づくり基礎コース)	8月	教諭等	市	1	21
		算数・数学科	算数・数学科授業づくり研修会(思考力・表現力コース)	6月	教諭等	市	1	18
			算数・数学科授業づくり研修会(楽しい授業づくりコース)	7月	教諭等	市	1	29
			算数・数学科授業づくり研修会(個に応じた指導コース)	8月	教諭等	市	1	18
		理科	理科授業づくり研修会(新しい授業づくりコース)	8月	教諭等	市	1	20
			理科授業づくり研修会(観察・実験指導コース)	7月	教諭等	市	1	18
			理科授業づくり研修会(教材研究コース)	7月	教諭等	市	1	15
		英語科	A E T と楽しむ英会話研修会	8月	教諭等	市	1	12
			小学校外国語活動授業づくり研修会	7月	教諭等	市	1	7
		生活科	学ぶ楽しさを育む生活科授業づくり研修会(基本コース)	7月	小学校教諭等	市	1	7
			学ぶ楽しさを育む生活科授業づくり研修会(実践コース)	7月	小学校教諭等	市	1	6
		音楽科	楽しい音楽科授業づくり研修会	7月	教諭等	市	1	19
			やってみよう！！和楽器実技研修会	8月	教諭等	市	1	41
		図画工作・美術科	楽しい図工・美術科授業づくり研修会(教材づくりコース)	8月	教諭等	市	1	16
			楽しい図工・美術科授業づくり研修会(アートカード活用コース)	8月	教諭等	市	1	7

分 類			研修会名	実施月	対象	主催	日数	延べ 参加 人数
Ⅱ 専 門 研 修	教科等 研修	技術・家庭科	楽しい技術・家庭科授業づくり研修会(技術分野コース)	8月	教諭等	市	1	3
			楽しい技術・家庭科授業づくり研修会(家庭分野コース)	8月	教諭等	市	1	5
		体育・保健体育科	体力と運動技能を高める指導法研修会	7月	教諭等	市	1	19
			体育科授業づくり研修会	8月	小学校教諭等	市	1	10
	2 奨励 研修	道 徳	豊かな心を育てる道徳教育研修会	7, 8月	教諭等	市	2	35
			特別活動	望ましい人間関係をつくる特別活動研修会	教諭等	市	3	39
			総合的な学習の時間	総合的な学習の時間授業づくり研修会	教諭等	市	1	4
		教育相談	生徒指導・教育相談初級研修会	7, 8月	教諭等	市	3	38
			生徒指導・教育相談中級研修会	7, 8, 10, 11月	教諭等	市	6	87
			生徒指導・教育相談上級研修会	4～1月	教諭等	県	—	—
		情報教育	やさしいパソコン操作Ⅰ研修会(ワープロ機器活用コース)	7月	教諭等	市	1	14
			やさしいパソコン操作Ⅱ研修会(表計算コース)	7月	教諭等	市	1	38
			パソコンプレゼンテーションⅠ研修会(基本作成コース)	8月	教諭等	市	1	20
			パソコンプレゼンテーションⅡ研修会(応用作成コース)	8月	教諭等	市	1	16
			学校ホームページ作成研修会	8月	管理職教諭等	市	1	12
			ICTを活用した授業づくり研修会	8月	教諭等	市	1	26
			だれもができる情報モラル教育研修会	8月	教諭等	市	1	15
		生徒指導	学級経営研修会	6, 8月	教諭等	市	3	33
			教師のための話し方研修会	8月	教諭等	市	1	33
			不登校児童生徒サポート研修会	5, 8月	教諭等	市	2	31
		特別支援教育	発達障害の理解と指導法研修会	5, 8月	教諭等	市	3	31
		学習指導	「はつらつ先生に学ぶ授業力向上研修会	6月	教諭等	市	1	49
		地域学習推進	授業に役立つ博物館を活用した体験的な学習研修会	8月	教諭等	市	1	1
	3 特色 ある 教育 推進 研修	地域学習推進	授業に役立つ博物館を活用した体験的な学習研修会	8月	教諭等	市	5	215
			川越の歴史を学ぶティーチャーズセミナー	8月	教諭等	市	2	58
			博物館活用指導者研修会	11月	教諭等	市	1	30
		特色ある学校づくり推進	川越ミドルリーダー研修会	8月	教諭等	市	9	250
Ⅲ 特 別 研 修	1 派遣 研修	長期研修教員等派遣研修	長期研修教員等派遣研修	通年	教諭等	県	—	—
			大学院大学派遣研修	通年	教諭等	県	—	—
		在外教育施設派遣研修	在外教育施設派遣研修	通年	教諭等	国	—	—
		中央研修	教員研修センター中央研修	随時	教諭等	国	—	—
	2 県教育 委員会 研修	学校と社会の相互交流事業	民間企業等派遣研修	随時	教諭等	県	—	—
		特定研修	県立総合教育センター特定研修	随時	教諭等	県	—	—
		専門研修	県立総合教育センター等専門研修	随時	教諭等	県	—	—
	3 要請 研修	県等主催研修	県教育局各課等における主催研修事業	随時	教諭等	県	—	—
		訪問指導研修	訪問指導研修	随時	教諭等	市	57	49,134
		来訪指導研修	来訪指導研修	随時	教諭等	市	19	2,451
		教育センター研修	教育センター研修	随時	教諭等	市	2	64
	特別 研修	応急手当普及員	応急手当普及員講習会	8月	教諭等	市・消	3	76
			応急手当普及員再講習(平成20・23年度取得者)	8月	教諭等	市・消	1	42
		教職員健康推進	教職員健康増進講習会	8月	教諭等	市	1	—
		動物飼育	小学校動物飼育講習会	6月	教諭等	市	1	31
		学校保健	学校環境衛生検査器具取扱い講習会	8月	新任・転入養教・保健主事	市	1	21
			就学時健康診断等に関する講習会	8月	就学時健康診断等担当者	市	1	63
			学校歯科保健指導者講習会	11月	養護教諭	市	1	54
			普通救命講習会	5月	教諭等	市	2	98
			学校プール管理講習会	5月	教諭等	市	1	54
		体育	小学校体育実技指導法講習会(水泳)	6月	教諭等	市	1	34
		教育活動全般	教育フェスタKAWAGOE	8月	教諭等	市	1	450

※対象：対象とする教職員の職名等を表している。

※主催：消＝消防署

(2) 情報教育の推進

【平成 28 年度事業予定】

- ・情報化の進展に対応する児童生徒を育成するため、タブレット型端末の導入やコンピュータ等の機種更新に努め、効果的な活用についての先進的な研究を行う。
- ・市内小・中学校のすべての学級で情報教育機器を活用した授業が行われるよう、教職員の I C T 活用指導力の向上を目指した研修会の充実を図る。
- ・授業で活用できる実践例の紹介、業者による導入ソフト・導入機器の操作法説明等、研修内容の工夫・改善に努める。
- ・教育の情報化に対応するため、普通教室でインターネット接続ができるよう校内 L A N の整備、来年度以降の導入校の設置計画を進める。

【平成 27 年度事業実績】

- ・ I C T 機器の効果的な活用について各種研修会 (13 講座 14 回の延べ 458 人参加) を実施し、教員の操作技術の向上を図った。
- ・児童生徒が情報及び情報手段を主体的に収集し、選択して活用したり、発信したりすることができる情報モラルを含む情報活用能力の育成に努めた。
- ・情報化の進展に対応する児童生徒を育成するため、電子黒板やデジタル教科書、実物投影機等の効果的な活用について、実践的な研究を進めた。

(3) 英語指導助手 (A E T) の配置事業の充実と活用

【平成 28 年度事業予定】

- ・国際化の進展に対応し、広い視野と国際感覚を持った児童生徒を育成するため、市立小・中・高等学校に配置されている英語指導助手の指導力の向上を図る。
- ・小学校での学級担任教員との外国語活動や中・高等学校での英語担当教員との共同授業において、英語指導助手をより効果的に活用できる配置を進めていく。
- ・英語指導助手 (A E T) のより効果的な活用、教員の指導力の向上を図り、「聞く」、「話す」、「読む」、「書く」の 4 技能のバランスを取りながら、体験的・実践的な英語教育の充実を推進していく。

【平成 27 年度事業実績】

- ・現地採用 4 人、K E T 2 人、派遣契約 17 人の英語指導助手 (A E T) を配置した。

＜訪問実績＞

- ・英語指導助手 (A E T) 23 人
- ・A E T の共同授業による 1 日平均授業時数 (時間) 小学校 4.6 中学校 3.7
- ・A E T の 1 校あたりの年間訪問日数 (日) 小学校 30.0 中学校 90.9
- ・A E T の年間全訪問日数 (日)
小学校 963 中学校 1,999 市立川越高等学校 117 合計 3,079

英語指導助手配置状況の推移

(単位: 人)

	H2	H3	H4	H5	H6	H7	H8	H9	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
JET	1	1	1	1	1	1	1	2	2	2	3	3	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
KET	2	2	3	3	3	3	5	5	6	7	7	8	10	8	8	5	3	3	3	3	2	2	2	2	2	2
現地	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2	3	3	5	5	5	5	4	5	3	3	4	4
業務委託	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	5	6	11	13	13	13	13	14	—	—	—	—	—
派遣	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	14	16	16	16	17
合計	3	3	4	4	4	4	6	7	8	9	10	11	13	15	17	19	21	21	21	21	21	21	21	21	22	23

※ J E T (語学指導等を行う外国青年招致事業) K E T (川越市姉妹都市交流事業) 現地 (川越市在住外国人)

委嘱学校研究等一覧

1. 川越市教育委員会研究委嘱校（2年目）

学 校 名	教 科 等	発表予定日	研 究 主 題
①仙波小学校	国 語 科	平成28年 10月28日(金)	「仲間との交流を深め、進んで表現する仙波っ子の育成」
②南古谷小学校	道 徳	平成29年 1月24日(火)	心豊かで、温かい関わりを深める南古谷っ子の育成 ～自ら問題意識をもち、生き方を考える道德教育の創造～
③大東西小学校	理 科 生 活 科	平成28年 11月29日(火)	豊かな体験を通して探究する力を育む授業づくり ～理科・生活科の授業を通して～
④霞ヶ関小学校	算 数 科	平成28年 11月2日(水)	学び合い、高め合う授業の創造 ～アクティブ・ラーニングを取り入れた算数科学習～
⑤霞ヶ関東小学校	体 育 科	平成28年 10月25日(火)	友だちとかかわり、技能を高め合う児童の育成 ～わかる・かかわる・できる体育科授業をめざして～
⑥名細小学校	算 数 科	平成29年 2月8日(水)	子どもたち一人一人が『わかる・できる』を実感できる授業づくりの工夫 ～ユニバーサルデザインの視点を取り入れた算数科指導～
⑦高階西中学校	各 教 科	平成29年 1月18日(水)	一人一人の生徒が生き生きと学ぶ指導法の研究 ～言語活動の充実を踏まえた「わ・た・しの授業」の実践～
⑧寺尾中学校	生徒指導	平成29年 1月17日(火)	豊かな心の育成と自己実現の支援 ～生徒一人一人が主体的に活動し、満足感や充実感を味わえる教育活動を目指して～

2. 川越市教育委員会研究委嘱校（1年目）

学 校 名	教 科 等	研 究 主 題
①川越第一小学校	算 数 科	個性を伸ばし、創造性を育む学習指導の工夫 ～思考力・判断力・表現力を伸ばす算数科のスタンダードを求めて～
②川越小学校	教 育 課 程	豊かななかかわり合いを通して、 今を見すえ明日（あす）に雄飛する児童の育成
③新宿小学校	国 語 科	一人一人が主体的に学ぶ児童の育成
④大東東小学校	体 育 科	活力あふれる樗の子の育成 ～体育科の指導をとおして～
⑤霞ヶ関南小学校	体 育 科	運動の楽しさを味わい、進んで体を動かす南っ子の育成
⑥霞ヶ関北小学校	道 徳	自分のよさを発揮し心豊かにたくましく生きる子どもを育成する道德教育
⑦川越第一中学校	社 会 科	追究する力を育てる社会科学習 ～主体的・協働的に学ぶ学習の充実（歴史的分野）～
⑧富士見中学校	社 会 科	追究する力を育てる社会科学習 ～主体的・協働的に学ぶ学習の充実（公民的分野）～
⑨城南中学校	社 会 科	追究する力を育てる社会科学習 ～主体的・協働的に学ぶ学習の充実（地理的分野）～
⑩霞ヶ関中学校	全 教 科	学力の向上を図る教育活動の充実 ～授業の質の向上を目指して～

※委嘱学校研究校は2年計画で行っている。

2年目の8校は平成27、28年度の委嘱学校研究校、1年目の10校は平成28年度からの委嘱学校研究校

5. 教育センター分室(リバーラ) Tel:049-234-8333 E-mail:riviera@city.kawagoe.saitama.jp



- (1) 川越市立教育センター分室(リバーラ)
- (2) 所在地 川越市的場 2649-1 (電話 049-234-8333・ファクス 049-234-8337)
- (3) 沿革
 - 昭和 39 年 川越市教育相談室を川越小学校内に開設する。
 - 昭和 53 年 中央小学校内に移設(川越小学校校舎改修のため)する。
 - 昭和 55 年 初雁中学校内に移設(中央小学校校舎改修のため)する。
 - 昭和 56 年 川越小学校内に移設(川越小学校新築に伴い)する。
 - 昭和 58 年 電話相談室を川越小学校内に開設する。
 - 平成 元年 学校カウンセラー室を川越小学校内に開設する。
 - 平成 6 年 学校適応指導教室を中央公民館内に開設する。
 - 平成 12 年 川越市教育総合相談センター(リバーラ)を開設する。
 - 平成 15 年 中核市移行に伴い、学校教育部教育研究所所管となる。
 - 平成 18 年 いじめ相談直通電話を開設する。
 - 平成 22 年 川越市立教育センター分室(リバーラ)に名称を変更する。
 - 平成 25 年 いじめ相談電子窓口を開設する。
 - 平成 27 年 いじめ相談直通電話を川越市立教育センターに移設する。
- (4) 設置の目的
児童生徒の多様な悩み等に対して、本人、保護者及び教職員にその望ましい在り方や解決について援助し、不適応を改善するとともに、それぞれの人格の成長及び自己実現を図る。
- (5) 教育相談の内容等
 - ① 相談内容
 - ・ことばや発達の遅れに関するもの
 - ・性格や行動に関するもの
 - ・不登校傾向など学校への不適応に関するもの
 - ・その他
 - ・精神的な不安や身体に関するもの
 - ・学齢期のしつけ等に関するもの
 - ・非行・問題行動に関するもの
 - ② 相談受理対象者
川越市内に居住する幼児児童生徒及びその保護者並びに川越市立学校教職員
 - ③ 相談日時
月曜日から金曜日(祝休日を除く)、(受付時間 午前9時～午後5時)
 - ④ 電話相談
月曜日から金曜日(祝休日を除く)、(受付時間 午前9時～午後4時)
 - ⑤ 適応指導教室(小学生及び中学生対象教室)
＜開設日及び開設時間＞
 - ・開設日 月曜日から金曜日(祝休日を除く)
 - ・開設時間 午前9時30分～午後3時
＜通室までの手順及び手続き＞
 - ・直接または校長と相談のうえ申込み→面接相談→体験通室→通室申請→通室決定

《川越市立教育センターにおいて開設》

① いじめ相談直通電話

月曜日から金曜日（祝休日を除く）、（受付時間 午前9時～午後5時）

土曜日・日曜日・祝休日（12月29日～1月3日を除く）、（受付時間 午前9時～正午）

② いじめ相談電子窓口

川越市公式ホームページから電子メールで相談する。

（１）教育相談の充実

【平成 28 年度事業予定】

- ・教育に関する悩みや心配等を抱えている保護者や小学生、中学生等の支援を行う。
- ・全市立中学校に配置している、さわやか相談員の活用を図り、不安や悩みをもつ生徒が相談しやすい教育相談体制を推進する。
- ・スクールカウンセラーや教育センター分室（リバーラ）の臨床心理士、スクールソーシャルワーカーなど、専門的知識を有する人材を活用し、児童生徒、保護者に対する教育相談体制の充実を図る。

【平成 27 年度事業実績】

- ・リバーラにおける教育相談の延べ件数は、4,016 件あった。そのうち面接相談の件数 3,639 件、電話相談 198 件、いじめ相談直通電話 34 件、いじめ相談電子窓口 1 件、火曜相談 144 件だった。臨床心理士の指導・助言を得ながら、より適切な相談活動を行うことができた。
- ・全市立中学校に 1 人ずつ配置したさわやか相談員が、小・中学生、その保護者等延べ 12,111 人の相談に対応した。
- ・週 1 回から 2 週間に 1 回の割合で配置されているスクールカウンセラーが、児童生徒やその保護者への面接、教職員への助言など、併せて 7,345 回の相談を行った。

（２）いきいき登校サポートプランの推進

【平成 28 年度事業予定】

- ・全市立小中学校における不登校問題の解消に向けて、地元の大学で心理学を学ぶ学生（スチューデント・サポーター）や教育センター分室に配置されている臨床心理士及びスクールソーシャルワーカーの活用を図ることで、学校、専門家、地域が連携し、「いきいき登校サポートプラン」を更に推進する。

【平成 27 年度事業実績】

- ・20 人の学生が延べ 310 回の活動を行った。
- ・臨床心理士を年間 45 回、教育センター分室（リバーラ）に配置し、特に配慮を要する難しいケースについてより専門的な対応を実施できた。

（３）特別支援教育の充実

① 就学支援委員会の充実

【平成 28 年度事業予定】

- ・小・中学校への就学予定者及び小・中学校に在籍する児童生徒のうち、教育上特別な措置又は支援を必要とする者に対して、一人一人のニーズに応じた教育的診断を行い、就学の適正化を図るために、学識経験者、医師、学校教育機関の代表者、関係行政機関の職員で構成する就学支援委員会の充実を図る。

【平成 27 年度事業実績】

- ・就学支援が必要な児童生徒に対して、諸検査の実施や学校訪問による観察、就学前施設への聞き取

り等を通して、状況を的確に把握し就学先を判断した。その際、情報収集に努め、再度諸検査を実施し、更に聞き取りを行った。

- ・判断と異なる就学先を希望する保護者に対しては、継続の相談を行い、適正な就学先を決定できるようにした。
- ・就学支援委員会実施回数 8回 就学相談実施人数 293人

② 特別支援教育支援員の配置

【平成 28 年度事業予定】

- ・校内の特別支援教育体制を充実させるとともに、自立支援サポーターの活用を図り、通常の学級における支援の推進に努める。
- ・小・中学校に設置している特別支援学級の児童生徒や通常の学級にいる車椅子等の障害のある児童生徒一人一人の障害の特性等に配慮した指導・支援の充実に努める。

【平成 27 年度事業実績】

- ・通常の学級に在籍する児童生徒の中で、学習障害（LD）・注意欠陥多動性障害（ADHD）・高機能自閉症等の発達障害があるなどの個別の支援を必要としている児童生徒数は、年々増加しており、各学校からの自立支援サポーターの申請数が増えた。
- ・申請の出された学校には、各学校の実態に応じて 1～2 日の範囲で、自立支援サポーターをすべて配置した。
- ・対応した児童数 1252 人 対応した生徒数 151 人
- ・特別支援学級でも通常の学級でも、個々の教育的ニーズに対応する児童生徒数は増加しており、人的環境を整えることで、学校運営を支援することができた。

さわやか相談室

(1) 川越市さわやか相談員の活動場所及び活動内容

- ① 活動場所…主に全市立中学校に設置されているさわやか相談室
- ② 活動内容…相談室における教育相談、小学校訪問、不登校児童生徒の家庭訪問など

(2) 相談内容

- ① いじめや不登校の問題をはじめ、友人関係や性格・行動等、児童生徒の心の悩みの相談
- ② 児童生徒のことで悩んでいる保護者の相談

(3) 相談日時

月曜日から金曜日（各学校の相談室で定めた時間）

学校名	さわやか相談室電話番号(直通)	学校名	さわやか相談室電話番号(直通)
川越第一中学校	223-8022	砂 中 学 校	246-1322
初 雁 中 学 校	225-8022	福 原 中 学 校	247-0022
富士見中学校	248-6722	大 東 中 学 校	247-1322
野 田 中 学 校	241-2322	大東西中学校	248-1722
城 南 中 学 校	248-6822	霞ヶ関中学校	231-7322
芳 野 中 学 校	226-8722	霞ヶ関東中学校	232-0622
東 中 学 校	235-2622	霞ヶ関西中学校	233-3722
南古谷中学校	235-1722	川越西中学校	233-6622
高 階 中 学 校	243-2122	名 細 中 学 校	231-8822
高階西中学校	243-8122	鯨 井 中 学 校	233-6822
寺 尾 中 学 校	247-0522	山 田 中 学 校	226-5022

特別支援学級

1. 知的障害特別支援学級：知的な障害のある児童生徒を対象に設置

(小学校)

学校名	学級数	学校名	学級数
川 越 小 学 校	1	中 央 小 学 校	1
仙 波 小 学 校	1	大 塚 小 学 校	2
月 越 小 学 校	1	古 谷 小 学 校	1
南 古 谷 小 学 校	1	高 階 小 学 校	1
高 階 南 小 学 校	1	高 階 北 小 学 校	3
福 原 小 学 校	1	霞 ケ 関 小 学 校	1
霞 ケ 関 南 小 学 校	1	霞 ケ 関 東 小 学 校	1
霞 ケ 関 西 小 学 校	1	名 細 小 学 校	2
山 田 小 学 校	1		

(中学校)

学校名	学級数	学校名	学級数
初 雁 中 学 校	3	富 士 見 中 学 校	2
東 中 学 校	1	高 階 中 学 校	1
寺 尾 中 学 校	1	砂 中 学 校	1
霞 ケ 関 中 学 校	2	霞 ケ 関 西 中 学 校	1
名 細 中 学 校	2		

2. 自閉症・情緒障害特別支援学級：自閉症や情緒に障害のある児童生徒を対象に設置

(小学校)

学校名	学級数	学校名	学級数
川 越 小 学 校	2	中 央 小 学 校	1
仙 波 小 学 校	1	大 塚 小 学 校	2
月 越 小 学 校	1	古 谷 小 学 校	1
南 古 谷 小 学 校	2	高 階 小 学 校	2
高 階 南 小 学 校	1	高 階 北 小 学 校	3
福 原 小 学 校	1	霞 ケ 関 小 学 校	3
霞 ケ 関 西 小 学 校	1	名 細 小 学 校	2
山 田 小 学 校	1		

(中学校)

学校名	学級数	学校名	学級数
初 雁 中 学 校	1	富 士 見 中 学 校	2
東 中 学 校	1	高 階 中 学 校	1
寺 尾 中 学 校	1	霞 ケ 関 中 学 校	1
霞 ケ 関 西 中 学 校	1	名 細 中 学 校	1

3. 弱視特別支援学級：視覚に障害のある児童を対象に設置

学校名	学級数
寺 尾 小 学 校	1

4. 肢体不自由特別支援学級：身体に関する障害のある児童を対象に設置

学校名	学級数
中 央 小 学 校	1

通級指導教室

学校名	学級数	対象
川 越 小 学 校	3	通常の学級に在籍している言語や聴覚に軽度の障害がある児童
霞 ケ 関 小 学 校	1	
中 央 小 学 校	2	通常の学級に在籍している軽度の発達障害や情緒障害がある児童生徒
高 階 小 学 校	2	
霞 ケ 関 小 学 校	1	
富 士 見 中 学 校	1	

特別支援学校

昭和 39 年 川越市立養護学校として開校（小学部、中学部、高等部を漸次拡張）
 昭和 47 年 4 月 県立川越養護学校開校に伴い、小学部、中学部を県立に移管する。
 平成 22 年 4 月 川越市立特別支援学校に名称変更（現在の対象は、高等部のみになっている。）

6. 市立川越高等学校 Tel:049-243-0800 E-mail:kawagoekou@city.kawagoe.saitama.jp



- (1) 名 称 川越市立川越高等学校
- (2) 所在地 旭町 2-3-7 (電話 243-0800・ファクス 247-6828)
- (3) 沿 革

市立川越高等学校は、平成 14 年度に川越商業高等学校から校名変更し、普通科・情報処理科・国際経済科に再編してから 15 年目になる。

普通科では、ここ数年、大学・短大の現役進学率が 70% 台となり、商業系学科では「川商」創立から 91 年の歴史と伝統を活かし、引き続き専門資格の高い取得率と進学・就職実績を上げている。

卒業生は 2 万 4 千人を超えており、さまざまな分野で活躍をしている。

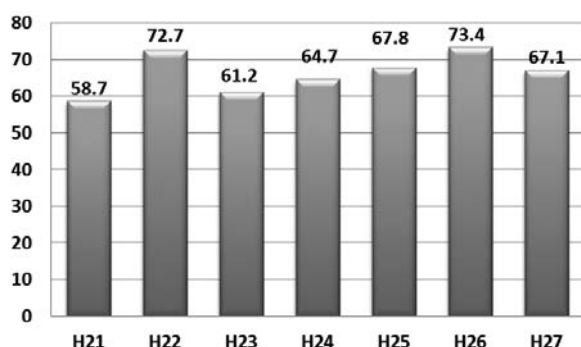
(1) 進路希望の実現

【平成 28 年度活動予定】

- ・平成 24 年度の 1 年生から導入したすべての学科の 35 人少人数学級編制及び入学者選抜における「地域特別選抜」を引き続き実施する。
- ・3 年生では進路希望に合わせた科目を選択し、一人ひとりにきめ細かな学習指導を実施する。

【平成 27 年度活動実績】

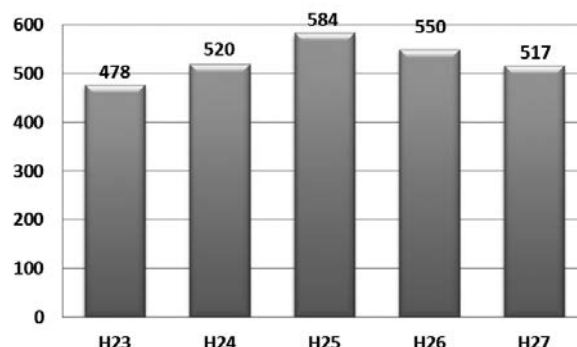
進路指導実績 (下グラフ: 普通科大学・短大進学率)



○主な進学先 (平成 28 年 3 月実績)

埼玉大、中央大、立教大、青山学院大、法政大、学習院大、國學院大、成蹊大、日本大、東洋大、駒澤大、専修大、武蔵大、文教大、大東文化大、他

検定試験 1 級合格者数



検定種目 (8 種): 簿記、情報処理 (ビジネス情報・プログラミング)、ビジネス文書、電卓、英語、商業経済、珠算

○主な就職先 (平成 28 年 3 月卒)

(株)武蔵野銀行、埼玉縣信用金庫、飯能信用金庫、川口信用金庫、日本郵便(株)関東支社、(株)セブンーイレブン・ジャパン、(株)プリンスホテル、国税局、東京消防庁、川越市役所、飯能市役所、他

(2) 部活動の充実

【平成 28 年度活動予定】

- ・文化部和運動部で合計 33 部が、より高い水準をめざして活発に活動が続けている。生徒が主体性を持ち積極的に活動できるよう、充実した指導を行っていく。

【平成 27 年度活動実績】

- ・バレーボール部
関東高等学校女子バレーボール大会出場（41 年連続 42 回目）
全国高等学校総合体育大会女子バレーボール大会出場（2 年ぶり 33 回目）
- ・野球部
春季埼玉県高等学校野球大会 3 回戦
全国高等学校野球選手権埼玉大会 3 回戦
秋季埼玉県高等学校野球大会 西部地区予選 2 回戦
- ・O A 部（ワープロ競技）
埼玉県高校ワープロ競技大会 団体優勝
（全国大会出場：40 回以上）
- ・ソフトボール部
関東高等学校女子ソフトボール大会県予選 ベスト 16
全国高等学校総合体育大会女子ソフトボール大会県予選 ベスト 32
全国高等学校選抜大会県予選 ベスト 16
- ・女子バスケットボール部
全国高等学校女子バスケットボール大会県予選 第 5 位
バスケットボール大会女子西部支部大会優勝（2 連覇）
- ・チアダンス部
全国高等学校ダンスドリル選手権出場
全日本チアダンス選手権大会出場

(3) 中高連携の推進

【平成 28 年度活動予定】

- ・市内中学校 3 校（城南中、野田中、福原中）と市立高等学校では、川越市の教育の一層の充実を図るため中高連携に取り組んでいく。職員、生徒、保護者の連携を図り、特色ある教育活動を通して、その検証結果をもとに、市内中学校や高等学校に、その成果を普及させ、更なる先導的な役割を果たしていく。

【平成 27 年度活動実績】

- ・高校の授業を理解してもらい、進路指導の一助にしてもらうため、中学校へ本校の職員が出向き、中学生向きの出前授業を実施した。また、小学生と高校生との交流や小学生への出前授業も平成 25 年度から実施している。
- ・中学 3 年生を対象に、市内 10 校において出前授業を行った。
- ・城南中学校の 2 年生全員に本校の教員による模擬授業を本校で実施した。
- ・本校の女子バスケットボール部が大塚小学校 6 年生にバスケットボールの指導を行い、交流した。
- ・本校理科教諭 2 人が新宿小学校 5・6 年生に対し、理科（実験を中心）の出前授業を行った。